

三田市の

つながりづくりを紹介！

地域活動情報紙
「たんぽぽ」



9月号
(2022/9)

地域活動情報紙「たんぽぽ」では、各地域で取り組まれている活動や関連情報をお届けします。

今回は、藍地区とフラワータウン地区を紹介します！

藍地区の活動紹介 (NPO法人) ボランティアアユート

どんな活動をしていますか？

平成25年に藍地区ふれあい活動推進協議会で策定された地区別計画に基づいて、様々な活動を展開されており、8年間で①ごみ出し等を手伝える生活支援、②買い物や通院時の外出支援、③特別養護老人ホームさんすい園と協働している配食サービス、④高齢者の方のつどいの場であるふれあい喫茶(介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスB)、⑤子どもの居場所であるあい子どもサロン(子ども食堂・学習塾など)を実施されています。



Point!

藍地区で行われている「見守り藍隊会議」(地域の活動者や専門機関などが情報共有する場)などを通して、新たに出てきた地域の困りごとや課題にも柔軟に対応し、新たな活動も実施されています。

※あい子どもサロンも、見守り藍隊会議で課題を把握し生まれた活動です。

参加者の声

ふれあい喫茶
参加者



居場所ができてよかったですと感じています。友達からも「通う場所があるのはいいね」と羨ましがられています。家族からも、「週1回でも出かける先ができて安心しています。よかった!」と言われてい

ます。夕方、ひとりになる子どもの居場所があって、とても助かっています。勉強も教えてもらえているので、とてもうれしいです!



あい子どもサロン
参加者の保護者

活動者からのメッセージ

活動を続けられるのは、「アユートの活動は他にはないものなので助かっています。ありがとう」、その言葉がモチベーションになっているからだと思います。また、自分が楽しくできる活動でなければ、続けられないとも思っていて、地域のためにだけではなく、自分も楽しめる活動をこれからもやっていきたいと思っています。

高齢者にとっても辛い所に手が届き、子ども達もここに帰ってきたい、住み続けたいと思える、安心安全な住み続けられるまちづくりを取り組み続けたいです。



いまい あきお
今井 昭夫さん

フラワータウン地区の活動紹介

(弥生が丘) わかば会

どんな活動をしていますか？



弥生が丘 I 番館・II 番館（マンション）で開催している、わかば会は今年で17年目を迎えます。きっかけは、「1週間、誰ともおしゃべりしていないのよ」という声を聞いた民生委員の方が住民同士で交流できる場が必要と思ったのが始まりで、現在はその想いを引き継いだお世話役の方が、弥生が丘の様々な人と協力しながら運営をされています。

わかば会では、ラジオ体操やお茶を飲みながらのおしゃべり、懐メロ一杯のわかば会歌集を使った合唱など、定番メニューに加え、参加者からもしたいことを提案するなど、お世話役と参加者が一緒になって会を盛り上げています。



Point!

当初、参加者はマンションの住民のみでしたが、口コミが広がり、現在は近隣の校区の方も参加されるようになりました。転居された方も変わらずに参加されており、つながりを持ち続けられるように柔軟な運営をされています。また、誕生日の方をみんなで祝いする「お誕生日会」も開催されており、誰もが主役になれる場づくりもされています。

参加者の声



他の地区に引っ越しましたが、お世話役の方が毎月案内チラシを届けて来てくれます。馴染みのみなさんにも出会えるし、家族も喜んでくれています。

ここでみんなに誕生日を祝ってもらえて、とても嬉しいです。いつまでも元気に過ごしたいと思います！



活動者からのメッセージ

長く続けられているのは、参加者の方に喜んでもらえることが励みになっているからです。最初に活動を始められた方の想いを引き継ぎながら、手伝ってくれる人が次々現れてくれます。みんなで力を合わせて楽しく活動できています。



まつおか しほこ
松岡 志保子さん

発行元

社会福祉法人 三田市社会福祉協議会 (地域福祉係)
〒669-1514 三田市川除675番地 三田市総合福祉保健センター内
TEL : 079-559-5965 e-mail : chiiki@sanda-shakyo.or.jp